

科目名	図学	英語科目名	Descriptive Geometry
開講年度・学期	平成22年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科1年
授業形態	講義+演習	必修 or 選択	必修
単位数	2単位	単位種類	履修
担当教員	豊川斎赫	居室(もしくは所属)	建築棟2階
電話		E-mail	toyokawa-s@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
1. 遠近法の論理的な組立てを、数学的、哲学的、美術史的、光学的に理解し、立体的な感覚を身につける。 2. 単純な図形からやや複雑な建築物まで立体的に描く手法を理解し、スピーディかつ美しく描くことが出来る。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1. 達成目標1については、課題レポートを中心におこなう。 2. 達成目標2については、作図・実技レポートを中心に行う。			
評価方法			
評価は下記2項目の平均によって行う。 1. 出席(30%) 2. レポート(70%)			
授業内容			
1. イントロダクション: 図学の来歴			
2. 遠近法(1): アルベルティ『絵画論』(円錐の裁断)			
3. 遠近法(2): アルベルティ『絵画論』(無限遠点)			
4. 遠近法(3): アルベルティ『絵画論』(射影幾何学、デザルグ)			
5. 遠近法(4): アルベルティ『絵画論』(代数幾何学、三点消失)			
6. 遠近法(5): アルベルティ『絵画論』(ストーリーア、ブランカッチ礼拝堂)			
7. 遠近法(6): ピエロ・デラ・フランチェスカ『遠近法論』			
8. 遠近法(7): パノフスキー『象徴形式としての遠近法』(古代の視角補正)			
9. 遠近法(8): パノフスキー『象徴形式としての遠近法』(中世絵画のイコノロジー)			
10. 遠近法(9): パノフスキー『象徴形式としての遠近法』(中世絵画の軸測図)			
11. 遠近法(10): ブルネレスキの光学的遠近法の説明			
12. 遠近法(11): ブルネレスキの光学的遠近法の実践			
13. 正投影演習(1)			
14. 正投影演習(2)			
15. 正投影演習(3)			
1. イントロダクション			
2. 遠近法演習(1): 正確な作図			
3. 遠近法演習(2): 影と素材の描き分け			
4. 遠近法演習(3): 影と素材の描き分け			
5. 軸測図演習(1): 正確な作図			
6. 軸測図演習(2): 影と素材の描き分け			
7. 軸測図演習(3): 影と素材の描き分け			
8. 軸測図演習(4): 影と素材の描き分け			
9. 軸測図演習(5): 影と素材の描き分け			
10. 軸測図演習(6): 影と素材の描き分け			
11. 正投影演習(4): 正確な作図			
12. 正投影演習(5): 正確な作図			
13. 正投影演習(6): 影と素材の描き分け			
14. 正投影演習(7): 影と素材の描き分け			
15. 正投影演習(8): 影と素材の描き分け			
キーワード	遠近法、軸測図、正投影		
教科書	山田由紀子『建築とデザインのための図形科学』		
参考書			
小山高専の教育方針①~⑥との対応	②		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(A-1) 科学や工学の基本原則や法則を身につける。 (E-1) 外国の文化や価値観を知って国際性を身につける。			
JABEE 基準1の(1)との関係	d(2-c)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目			
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目	-----		
連絡事項			
特になし			
シラバス作成年月日	平成22年1月14日		